

令和4年2月 松原メイフラワー病院治験審査委員会 会議議事録概要

開催日時： 令和4年2月9日（水）13時30分～13時55分

出席委員名： 三浦孝子、塩沢俊一、高橋邦夫、松本淳子、上月勇、荒木寛、安達克明、上月大輔
（荒木寛・安達克明：GSK3196165（contRAst-2・contRAst-3）試験については審議不参加）

オブザーバー：平野泰子

議題及び審議結果を含む主な議論の内容

1. 審議事項（治験継続可否）

- 1) アツヴィ（合）の依頼による既存の合成DMARD（csDMARD）を一定用量で投与中かつcsDMARD治療で効果不十分な中等症から重症の日本人活動性関節リウマチ患者におけるABT-494とプラセボとの第IIb/III相無作為化二重盲検比較試験

新たな安全性情報（2021/12/27付・2022/1/18付）について審議が行われ、治験継続は承認された。

- 2) アツヴィ（合）の依頼によるメトトレキサート（MTX）の使用経験のない中等症から重症の活動性関節リウマチ患者におけるABT-494の1日1回投与による単独療法とMTX単独療法との第III相無作為化二重盲検比較試験

新たな安全性情報（2021/12/27付・2022/1/18付）について審議が行われ、治験継続は承認された。

- 3) シミック（株）（製造販売後臨床試験国内管理人）の依頼によるFilgotinibの関節リウマチ患者を対象にした長期継続投与試験（304）

新たな安全性情報（2022/1/21付）、同意説明文書の変更について審議が行われ、治験継続は承認された。

- 4) IQVIA サービシーズ ジャパン（株）の依頼による従来型／生物学的DMARDの効果が不十分な中等度から重度の活動性関節リウマチ患者を対象として、GSK3196165の有効性及び安全性をプラセボ及びトファシニブと比較する試験

新たな安全性情報（2022/1/5付・2022/1/18付・2022/1/19付・2022/1/24付）、治験実施計画書別添の変更について審議が行われ、治験継続は承認された。

- 5) IQVIA サービシーズ ジャパン（株）の依頼による生物学的DMARD及び/又はヤヌスキナーゼ阻害薬の効果が不十分な中等度から重度の活動性関節リウマチ患者を対象として、GSK3196165の有効性及び安全性をプラセボ及びサリルマブと比較する試験

新たな安全性情報（2022/1/5付・2022/1/18付・2022/1/19付・2022/1/24付）について審議が行われ、治験継続は承認された。

- 6) IQVIA サービシーズ ジャパン（株）の依頼による関節リウマチ治療におけるGSK3196165の長期安全性及び有効性を評価する試験

新たな安全性情報（2022/1/5付・2022/1/18付・2022/1/19付・2022/1/24付）について審議が行われ、治験継続は承認された。

- 7) アツヴィ（合）の依頼による関節リウマチ患者を対象としたABBV-154の第II相試験

同意説明文書の変更、同意説明文（任意）について審議が行われ、治験継続は承認された。

8) サイネオス・ヘルス・クリニカル(株)の依頼によるリウマチ患者を対象としたMJK101の第Ⅲ相試験
(松原メイフラワー病院、松原クリニック両施設審議分)

新たな安全性情報 (2022/1/6付・2022/1/24付) について審議が行われ、本案件は承認された。